



Society 5.0 を生きる子どもたちの力を育むために

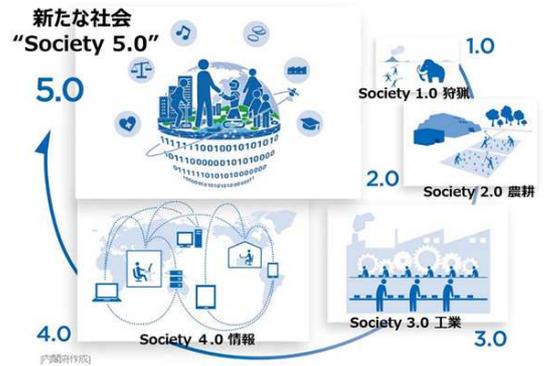
最近、携帯電話会社のコマーシャルで「5G (ファイブジー)」という言葉をよく聞きます。これは、データ通信の第5世代を表す言葉です。よく似ていますが意味が異なり、最近よく聞く言葉に「Society (ソサイエティ) 5.0」があります。これは、私たち人間の生きる社会の第5世代を表す言葉で、「超スマート社会」と呼ばれています。ちなみに第1世代は狩猟社会、次いで農耕社会(第2世代)、工業社会(第3世代)、情報社会(第4世代)となります。

では「Society 5.0」がどんな社会かという、「インターネットですべての人とモノがつながり新たな価値が生まれる社会」とか、「AI (人工知能) により必要な情報が必要なときに提供される社会」、「ロボットや自動走行の車などの技術で人間の可能性が広がる社会」などと表現されています。子どもたちはこの「Society 5.0」の社会を生きていくことになります。

そのため、学校においては「社会に開かれた教育課程」を編成し、「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」の3つに重点をおいた指導によって、近未来の社会を生き抜く資質や能力を育成することが求められています。

そして、そのためのツールとして、児童1人1台のコンピュータ(iPad)がいよいよ導入されることが決まり、今週、その保管庫が設置されました。本体も3月中に納品されると聞いています。

今後、本校でも教職員研修を深め、効果的な活用の在り方を見だしていきたいと考えていますが、社会に開かれた教育課程とあるように、これからの教育は、学校・家庭・地域がワンチームとして、力を合わせて進めることが望まれています。これからも信頼される学校を目指して、積極的に情報を発信するとともに、次年度以降も家庭や地域との連携・協働を進めて参りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



内閣府ホームページより



6年生ありがとう集会を行いました。

6年生にとっては、小学校生活のよき思い出とするため、在校生にとっては、お互いの交流を深め、お世話になった6年生への感謝の気持ちを表すために、3月4日(木)の午後、「6年生ありがとう集会」を体育館で行いました。

- 【各学年のゲーム】
- | | | | |
|----|---------------|----|--------------|
| 1年 | 思い出電車でGO! | 2年 | 思い出いっしょに運ぼうね |
| 3年 | それゆけ! なかよし宅急便 | 4年 | じゃんけんピラミッド |
| 5年 | つな引き | | |

新児童会と5年団による運営で、密を避けるため、1年生から4年生までは交代で出入りして6年生とゲームを楽しみました。それぞれのゲームの最後には、お互いに思いを伝え合う時間を持ち、最後には、5年生がつくった退場コースを通過して、6年生が体育館を退場しました。6年生も在校生も、あたたかく、やさしい時間を過ごすことができたと思います。



ポータブルワイヤレスシステムを寄贈いただきました。

エビス紙料という観音寺市内の会社から、百十四銀行を通じて、ポータブルワイヤレスアンプとマイクのセットを寄贈いただくことになり、3月3日(水)の昼休みに贈呈式を行いました。

持ち運び可能なので学校行事や集会、運動部や合唱部の活動などで活用したいと考えています。

